

# PlateSpin Portability Suite 8.1 リリースノート

2009年6月24日

Novell®

## 1 このリリースについて

このリリースノートは、PlateSpin® Portability Suite バージョン 8.1 製品の PlateSpin® Migrate および PlateSpin® Protect の両方に適用されます。

この2つの製品は、共通クライアント、ランタイム実行エンジン、インストールプログラム、および製品マニュアルセットを共有しています。

製品名を含む特定の製品機能、機能セット、およびユーザインタフェースの詳細は、Portability Suite ライセンスのタイプによって決定されます。

## 2 バージョン 8.1 の新機能

この項では Portability Suite バージョン 8.1 製品の新しい機能について説明します。

- ◆ 1 ページのセクション 2.1 「新しいソースワークロードオペレーティングシステムのサポート」
- ◆ 2 ページのセクション 2.2 「改善されたマイグレーションとレプリケーションのパフォーマンス」
- ◆ 2 ページのセクション 2.3 「拡張されたサーバ同期機能とパフォーマンス」
- ◆ 2 ページのセクション 2.4 「新しい仮想化プラットフォームのサポート」
- ◆ 2 ページのセクション 2.5 「ターゲット仮想化プラットフォーム技術に対する拡張されたサポート」
- ◆ 2 ページのセクション 2.6 「拡張された柔軟なイメージ処理」
- ◆ 3 ページのセクション 2.7 「検出機能に対するユーザエクスペリエンスの改善」
- ◆ 3 ページのセクション 2.8 「Portability Suite バージョン 8.1 製品マニュアル」

### 2.1 新しいソースワークロードオペレーティングシステムのサポート

バージョン 8.1 では、移植容易性操作でソースワークロードの以下のオペレーティングシステムをサポートしています。

- ◆ **Solaris 10:** 製品を使用して Solaris\* 物理マシンまたはゾーンを Solaris 10 ゾーンサーバ (Solaris 10、U5 と U6、および SPARC\* アーキテクチャのみ) のネイティブゾーンに移行できるようになりました。2 ページのセクション 2.4 「新しい仮想化プラットフォームのサポート」を参照してください。
- ◆ **SUSE Linux Enterprise Server (SLES) 11:** Novell® SLES 11 は現在、マイグレーションジョブのソースワークロードとしてサポートされています。
- ◆ **Windows Vista:** マイグレーションジョブおよび保護ジョブの両方に対してサポートされているエディションは、Business、Enterprise、および Ultimate です。

- ◆ **Windows Server 2008:** マイグレーションジョブおよび保護ジョブの両方に対してサポートされているエディションは、Standard および Enterprise です。

## 2.2 改善されたマイグレーションとレプリケーションのパフォーマンス

Portability Suite バージョン 8.1 には、新しいデータ転送モジュールや、Microsoft Volume Snapshot Service (VSS) を活用することによって Microsoft\* Windows\* ワークロードのライブのブロックレベルの転送をサポートする VSS ブロックベース転送コンポーネントが含まれています。

## 2.3 拡張されたサーバ同期機能とパフォーマンス

- ◆ **機能拡張:** Portability Suite バージョン 8.1 では、サーバ同期機能が拡張され、物理マシンがサーバ同期ターゲットとして含まれるようになりました。これは、Windows および Linux のワークロードにも適用されます。
- ◆ **パフォーマンス拡張:** このリリースでは、新しい VSS ベースのブロックレベルデータ転送モジュールの導入が理由の一つとなり、初期のワークロードの移設での速度向上および保護契約の設定が提供されています。[2 ページのセクション 2.2 「改善されたマイグレーションとレプリケーションのパフォーマンス」](#) を参照してください。

## 2.4 新しい仮想化プラットフォームのサポート

- ◆ **Solaris 10:** Solaris ワークロードを同じ OS および更新バージョンを持つ Solaris ゾーンサーバ (Solaris 10、U5 と U6、および SPARC アーキテクチャのみ) のネイティブゾーンに移行できるようになりました。[1 ページのセクション 2.1 「新しいソースワークロードオペレーティングシステムのサポート」](#) を参照してください。
- ◆ **Citrix XenServer 5:** 現在、完全に自動化されたワークロードの移植容易性ジョブに対するターゲットとしてサポートされています。
- ◆ **VMware ESX 4:** 現在、完全に自動化されたワークロードの移植容易性ジョブおよび保護ジョブに対するターゲットとしてサポートされています。

## 2.5 ターゲット仮想化プラットフォーム技術に対する拡張されたサポート

Portability Suite は現在、VMware vCenter\* 経由で VMware\* ESX サーバにアクセスできます。たとえば、VMware vCenter サーバを検出すると、関連するすべての VMware ESX サーバが結果として検出されます。

さらに、Portability Suite を使用すると、ESX サーバアクセスメカニズムとして、ESX サーバへの直接アクセスおよび vCenter を介したアクセスを切り替えることができます。

## 2.6 拡張された柔軟なイメージ処理

障害復旧の努力やビジネスの継続性の実施中に、PlateSpin® Flexible Image に保存されているファイルのバックアップバージョンを使用することによって、運用サーバのファイルシステムで必要に応じてファイルを選択して復元することができます。この処理を行うには、イメージまたはイメージ増分からファイルを参照、検索、ソートし、また抽出できる

新しい Image Browser ユーティリティを使用することができます。このユーティリティは、直感的な Windows エクスプローラに似たインタフェースを介して、またはコマンドラインで使用できます。

## 2.7 検出機能に対するユーザエクスペリエンスの改善

Portability Suite バージョン 8.1 で詳細の検出操作を実行している際、ユーザインタフェースでは、その検出操作に対してマシンのワークロード移植容易性の役割を指定するために選択できる個別のマシントイプのリストが提供されます (Windows, Linux, Solaris, VMware ESX, VMware vCenter, and Citrix\* XenServer\* )。

## 2.8 Portability Suite バージョン 8.1 製品マニュアル

このリリースは、PlateSpin<sup>®</sup> Migrate 製品および PlateSpin<sup>®</sup> Protect 製品両方に対する Web ベースのマニュアルセットで詳しく説明されています。必要な情報に基づいて、この製品マニュアルはオンラインで表示するか、個々の PDF ファイルとしてダウンロードすることができます。

PlateSpin<sup>®</sup> Portability Suite バージョン 8.1 マニュアル Web サイト ([http://www.novell.com/documentation/platespin\\_portabilitysuite\\_810/](http://www.novell.com/documentation/platespin_portabilitysuite_810/)) にアクセスしてください。

統合ヘルプ (PortabilitySuiteHelp.chm) は、これまでどおり両方の製品に付属しており、Web ベースのマニュアルセットのほとんどの情報が含まれています。ただし、PlateSpin<sup>®</sup> Portability Suite バージョン 8.1 マニュアル Web サイトのコンテンツが定期的に更新されるのに対して、統合ヘルプファイルはメジャーまたはマイナーな (ホットフィックス) リリースの際にのみ更新されます。

## 3 Windows 2000 での製品インストールのサポートの中止

バージョン 8.1 では、Windows 2000 での Portability Suite Server または Portability Suite Client ソフトウェアのインストールは現在はサポートされていません。

ただし、Windows 2000 ワークロードは引き続き移行したり、保護したりすることができます。

詳細なシステム要件については、『[インストールガイド](http://www.novell.com/documentation/platespin_portabilitysuite_810/install/data/index.html) ([http://www.novell.com/documentation/platespin\\_portabilitysuite\\_810/install/data/index.html](http://www.novell.com/documentation/platespin_portabilitysuite_810/install/data/index.html))』を参照してください。

## 4 ワークロード保護に対するターゲットとしての仮想化プラットフォームのサポートの中止

PlateSpin<sup>®</sup> Protect 製品を使用するワークロード操作に対して、以下の仮想化プラットフォームのサポートが中止となりました。

- ◆ バージョン 3.x 以前のすべての VMware ESX Server プラットフォーム
- ◆ VMware Server 1.0
- ◆ Microsoft Virtual Server (MSVS)

## 5 バージョン 8.1 で修正されたバグ

8.1 リリースに対して多数のバグが修正されました。以下のリストでは、これらの修正によって解決された重要な問題の詳細について説明しています。

- ◆ **497665 Portability Suite をアップグレードする際のエラー**：前のリリースで実行されたアップグレードの方法における問題によって、「同じキーを持つエントリがすでに存在します。」というアップグレードエラーが発生する可能性があります。手動による操作が必要です。バージョン 8.1 へのアップグレードにはこの問題はありません。
- ◆ **488444 保存されたジョブは再ロードされると更新できなくなる**：保存されたジョブをロードした後で、Portability Suite は追加の変更を更新できませんでした。この問題は解決されました。
- ◆ **474081 柔軟なイメージの増分更新によって大量のデータが生成される**：このリリースでは、増分的なイメージ更新ジョブのデータフットプリントが大幅に削減され、転送時間が向上しました。
- ◆ **473109 複数の WinPE ISO アップロードによって生じる ESX ホストの不必要なディスク容量**：前のリリースでは、データストアごとに WinPE ISO イメージをアップロードするとディスク容量が浪費されていました。現在のリリースでは、マイグレーションまたはレプリケーション中、製品で単一データストアに保存されているローカルの Windows PE ISO へのアクセスが必要とされます。
- ◆ **465034 ESX 3.5 へのマイグレーションが断続的に失敗している遅いネットワークをターゲットとする**：この問題は解決されました。
- ◆ **492370 エラーを生じるディスクバリの失敗**：複数のゼロの IP アドレス (0.0.0.0) エントリを持つ複数のマシンによって、サーバがマシンディスクバリを拒否し、「マシンはすでに検出済みです」というエラーが表示されていました。Portability Suite 製品は、これらの形式が正しくないエントリを無視するように更新されました。
- ◆ **495182 Linux X2P マイグレーション中にデバイスドライバがインストールされない**：場合によっては、Linux X2P マイグレーション中に Portability Suite では必要とされている特定のデバイスドライバがインストールされていませんでした。この領域のすべての既知の問題は解決されています。
- ◆ **481810 一部の RHEL サーバに対してデーモン実行レベルが設定可能でない**：Portability Suite は特定の Red Hat\* Enterprise Linux (RHEL) ワークロードで指定した実行レベルを設定できるようになりました。
- ◆ **498129 OS サービスの復元の問題**：前のリリースの問題によって、*[変換後の復元]* オプションが明示的に有効になっている場合でもターゲットマシンのソースワークロードで見つかったオペレーティングシステムサービスをマイグレーションジョブまたはレプリケーションジョブで自動的に復元することができませんでした。この問題は解決されました。

## 6 バージョン 8.1 での既知の問題

- ◆ **Portability Suite Server インストーラで最小のディスク容量要件が施行されていない**：状況によっては、最小のディスク容量要件を満たさないホスト上の問題が適切に保護できない可能性があります。インストール問題を回避するには、インストールマニュアルに記載されているシステム要件を Portability Suite Server ホストが満たすことを確

認してください。特に、ホストに最低 10GB のディスク容量があることを確認してください。『[インストールガイド \(http://www.novell.com/documentation/platespin\\_portabilitysuite\\_810/install/data/index.html\)](http://www.novell.com/documentation/platespin_portabilitysuite_810/install/data/index.html)』を参照してください。

- ◆ **ターゲット VMware ESXi で SSH が有効である場合にディスクバリエーションが失速する**：最近検出された問題によって、この設定でのディスクバリエーションジョブが 80% の完了時にハングする可能性があります。VMware では、ESXi が付属する SSH サーバはサポートしていないことに注意してください。ESXi ディスクバリエーションが正常に行われることを確実にするには、ESXi で SSH を無効にしてください。この問題は VMware ESX サーバには適用されません。
- ◆ **VMware クラスタでの VMware ESX 4 サーバへのマイグレーション問題**：最近検出された問題のために、ESX 4 サーバが Distributed Resource Scheduler (DRS) クラスタメンバーである場合、ESX 4 サーバへのマイグレーションで正しい HA および DRS の設定が使用されない可能性があります。マイグレーションプロセス中に VMware HA 機能でターゲット VM が再起動されると、マイグレーションジョブは失敗します。マイグレーションプロセス中に、完全に自動化された DRS がターゲット VM で vMotion\* 操作を試行すると、マイグレーションでネットワーク接続性の問題が発生する可能性があります。VM マイグレーション自動化レベルが一部自動または手動に設定されている DRS クラスタへのマイグレーションでは問題は予期されていません。この問題は現在調査中です。
- ◆ **522325 VSS ブロックベース転送中にドライブ文字のないボリュームがサーバ同期の原因となる**：最近検出された問題のために、ドライブ文字が割り当てられていないボリュームを持つワークロードのサーバ同期マイグレーションが予期せず失敗する可能性があります。回避策として、マイグレーションを正しく続行するにはドライブ文字を対応するターゲットボリュームに割り当てます。
- ◆ **506154 ESX データストア名の特殊文字がマイグレーション問題の原因となる**：ESX データストアの名前に含まれている特殊文字 (#、+、および = など) によって、Portability Suite が ESX サーバと対話できなくなり、「ファイルを c:\xxxxx から http://xxxxx に配置できませんでした ... ファイルをトランスポート接続に書き込めません：確立された接続がホストマシンでソフトウェアによって中断されました」というエラーをスローします。この問題を回避するには、ESX データストア名で特殊文字を削除して、その ESX ターゲットを再ディスクバリエーションし、ジョブを返します。
- ◆ **509713 特定のマイグレーションおよびレプリケーションに対する不正確な進捗レポート**：長い間実行している (24 時間以上) マイグレーションまたはレプリケーションの進捗バーが不正確である可能性があります。この問題は調査中です。
- ◆ **502778 デュアルブート Windows Server 2003 ワークロードのディスクバリエーション失敗**：  
Windows Server\* 2003 ワークロードに Windows Server 2008 ボリュームおよび Windows Vista\* ボリュームがある場合、そのワークロードのディスクバリエーションは「アクセスが拒否されました」というエラーで失敗する可能性があります。これは Windows Server 2003 オペレーティングシステムでの問題です。詳細については、[ナレッジベースの記事 Q21167 \(http://support.platespin.com/kb2/article.aspx?id=21167\)](http://support.platespin.com/kb2/article.aspx?id=21167) を参照してください。
- ◆ **503466 Windows 2008/Vista x86 ワークロードで正しい RAM サイズを表示できない**：  
x86 プラットフォームでの Windows Server 2008 または Windows Vista のワークロードのディスクバリエーション時に、Physical Address Extension (PAE) が適切に有効にされている場合でも、そのワークロードに対して Portability Suite で最大 4 GB RAM が報告されます。これは表示上の問題で、ワークロードと対応する製品の機能には影響は与えられません。詳細については、[ナレッジベースの記事 Q21163 \(http://support.platespin.com/kb2/article.aspx?id=21163\)](http://support.platespin.com/kb2/article.aspx?id=21163) を参照してください。

- ◆ **509159 デフォルトの SUDO 設定を持つ SLES ワークロードを検出できない:**  
 Portability Suite では、製品がサーバと対話を開始する前に sudo が適切に設定されることが要求されます。詳細については、[ナレッジベースの記事 Q21162 \(http://support.platespin.com/kb2/article.aspx?id=21162\)](http://support.platespin.com/kb2/article.aspx?id=21162) を参照してください。
- ◆ **510409 Windows Server 2003 (x64) ワークロードをドイツ語の OS から Citrix XenServer 4.1 に移行する際の問題:** 最近検出された問題のために、この特定の環境設定でのワークロードのマイグレーションがマイグレーションプロセスの終了時に失速する可能性があります。ジョブの完了には何らかのユーザによる操作が必要です。詳細については、[ナレッジベースの記事 Q21162 \(http://support.platespin.com/kb2/article.aspx?id=21161\)](http://support.platespin.com/kb2/article.aspx?id=21161) を参照してください。
- ◆ **515761 VSS ブロックベースライブ転送を使用する保護されたワークロードがボリュームの追加または削除を選択しない:** 新しい VSS ブロックベース転送コンポーネントを使用する Windows ワークロード保護ジョブを実行した後で、保護ジョブが再送信された場合でもさらなるボリュームの追加または削除が監視されません。この問題を回避するには、VSS ブロックベース転送コンポーネントをアンインストールして、必要なボリュームの変更を行い、VSS ブロックベース転送コンポーネントを再インストールして、保護ジョブを返します。
- ◆ **516878 ドライブ文字のないボリュームを保護するために VSS ブロックベースライブ転送メソッドを使用できない:** 現在は、ドライブ文字が割り当てられているボリュームのみを保護するために VSS ブロックベースライブ転送メソッドを使用できます。この問題を回避するには、保護が必要なすべてのボリュームにドライブ文字を割り当てます。この問題は調査中です。
- ◆ **不明な OS がインストールされているマシンとして Citrix XenServer 5 VM が表示される:** XenServer 5 ホスト自体のディスクバリエーションに続く Citrix XenServer 5 での VM のディスクバリエーションによって、VM が「不明な OS」タグを持つマシンとして表示される可能性があります。この結果、*[同期の準備]* コマンドが必要な項目のコンテキストメニューに表示されなくなります。回避策として、システムでターゲット VM PlateSpin ISO (ブートイメージでブート) を物理マシンとして認識する半自動化された仮想プロセスを使用します。

## 7 保証と著作権

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、この文書の内容または使用について、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。また文書の商品性、および特定の目的への適合性については、明示と黙示を問わず一切保証しないものとします。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、本書の内容を改訂または変更する権利を常に留保します。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、このような改訂または変更を個人または事業体に通知する義務を負いません。

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、すべてのノベル製ソフトウェアについて、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。またノベル製ソフトウェアの商品性、および特定の目的への適合性については、明示と黙示を問わず一切保証しないものとします。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、ノベル製ソフトウェアの内容を変更する権利を常に留保します。

本契約の下で提供される製品または技術情報はすべて、米国の輸出規制および他国の商法の制限を受けます。お客様は、すべての輸出規制を遵守して、製品の輸出、再輸出、または輸入に必要なすべての許可または等級を取得するものとします。お客様は、現在の米国の輸出除外リストに掲載されている企業、および米国の輸出管理規定で指定された輸出禁止国またはテロリスト国に本製品を輸出または再輸出しないものとします。お客様は、取

引対象製品を、禁止されている核兵器、ミサイル、または生物化学兵器を最終目的として使用しないものとします。ノベル製ソフトウェアの輸出については、「[Novell International Trade Services \(http://www.novell.com/info/exports/\)](http://www.novell.com/info/exports/)」の Web ページをご参照ください。弊社は、お客様が必要な輸出承認を取得しなかったことに対し如何なる責任も負わないものとします。

Copyright © 2009 Novell, Inc. All rights reserved. 本書の一部または全体を、書面による同意なく、複製、写真複写、検索システムへの登録、送信することは、その形態を問わず禁止します。

米国 Novell, Inc. は、本文書に記載されている製品に実装されている技術に関する知的所有権を保有します。これらの知的所有権は、[Novell Legal Patents \(http://www.novell.com/company/legal/patents/\)](http://www.novell.com/company/legal/patents/) の Web ページに記載されている 1 つ以上の米国特許、および米国ならびにその他の国における 1 つ以上の特許または出願中の特許を含む場合があります。

Novell の商標一覧については、「[商標とサービスの一覧 \(http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html\)](http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html)」を参照してください。

サードパーティの商標は、それぞれの所有者に属します。

